

らじみサラダボール子育て情報



「生活と発達」
令和7年4月16日号
板橋富士見幼稚園



「好きな遊びを好きなだけ」

イヤイヤ期という言葉をよく耳にします。2歳になるころから、自分の思いの中で、人の言いなりになることを反射的に拒否しようとする姿が見られ始めます。

これは、肯定感と否定感の感覚が芽生え始めた証拠です。良かれと思うことをすべて「いやいや」と拒否するようになり、拒否した相手の顔や、その後の対話の響きに敏感に反応するようになってきます。自己の成長を促す本能として育ち持っているものなのです。よって、好きな遊びなどは、好きなだけやり遂げたいという気持ちが強まってきます。

2歳から3歳に向かう時期は、こうして自我が芽生え始め、自分と他者が少しずつわかるようになっていきます。この時期は、その子の好きなことを好きなだけさせてあげながら、生活していくために必要なことに気づかせていくことがとても大切です。遊びを好きなだけ続けさせてあげながら、時に「お買い物に行くから、お片付けしてね」と生活の流れを遊びの中に入れていってあげてください。当然、「拒否」してきます。我を通そうと「いやいや」が始まります。子どもの気持ちを認めながら、理由をしっかりと伝えて、生活の流れを差し込み、葛藤を通して、相手の気持ちになってみたり、「しょうがない」「仕方がない」などの心を切り替える感覚を徐々に覚えていくことで、人と関わる時の加減を学び成長しています。今回は、対話とスマホのお話です。



【春の自然と共に】

園庭の植物や生き物がいきいきとする季節になりました。

花びらを使って遊んだり、水やりや虫取りをして子どもたちは春の自然を満喫しています。

